

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌ウイルス	2022年												2023年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~5日	3月 ~12日	3月 ~19日	3月 ~26日	4月 ~2日
カンピロバクター	76	34	43	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	13	17	5	8 (3)	10
病原性大腸菌	29	41	37	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	14	17	12	6 (6)	7
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	0	0	0	4	1
サルモネラ	4	3	7	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	1	0	1	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	35	12	25	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	3	5	2	2 (1)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	19	10	9	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	4	4	5	1	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	0	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	0	0	1	1	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	0	0	0	1
ノロウイルス	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	3	2	1	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第13週(3月27日~4月2日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1			1	4		1
三類	6	腸管出血性大腸菌感染症	6	1	1			4		
四類	1	E型肝炎	1							1
五類	13	クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1			
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		梅毒	10			1		6		3
新型コロナウイルス感染症	1,778	新型コロナウイルス感染症	1,778	162	178	184	71	777	103	303

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第13週に777件の報告がありました。新規感染者数は、ほぼ横ばいで推移していましたが、前週の約1.1倍とやや増加しました。感染を再拡大させないためには、一人一人が基本的な感染予防対策を続けることが大切です。また、体調が悪いときは外出や会食を控えましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり10.47人の報告がありました。前週と比べてやや減少しましたが、多い状況が続いています。

新学期が始まると、人と人との接触機会が増え、感染が広がるおそれがあります。引き続き、手洗い、咳エチケットの励行、換気などの感染予防対策を心がけましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第13週 A型:68人、B型:0人

3 腸管出血性大腸菌感染症

4件の報告があり、今年の累計は7件(昨年同時期:0件)と多い状況です。

インフルエンザの流行状況(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	377	10.47	0.88	◇	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.07	
	咽頭結膜熱	5	0.21	0.17			RSウイルス感染症	9	0.38	0.31	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	0.58	1.35	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	77	3.21	4.58	◇		流行性角結膜炎	5	0.63	0.45	
	水痘	4	0.17	0.24			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.10		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.10			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	突発性発しん	4	0.17	0.30			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.88	

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	27	40歳代・推定感染地域:国外・1人、70歳代・2人、80歳代・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	4	7	20歳代・O26、50歳代・O26、60歳代・O26・市外、70歳代・O26
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	60歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	80歳代
5	梅毒	6	59	20歳代・1人、30歳代・1人、40歳代・4人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	4	70歳代